○上下水道課

日　　程	令和５年９月６日（水）
会　　場	第２会議室
開　　会	午前８時５８分～午前９時４８分
出席委員	高橋　満（委員長）、畠山勝巳（副委員長）、 三浦　敦、成田光一、荒谷要伸
欠席委員	なし
説 明 員	嶋田課長、関補佐、佐々木補佐、嶋田主席主査、三浦主任

№.	質疑応答の概要
	一般会計
	なし
	温泉事業特別会計
1	P297　温泉使用料の収入未済額が１，２００万円程あるが、これは個人と事業者どちらの割合が多いのか。
	答　事業者であるが、個人情報の関係から詳しい答弁は控える。
2	P297　滞納してから何年経過しているのか。
	答　平成２４年度に温泉の供給を停止しているため、その前からである。
3	P297　平成２４年度以前は、少しずつ支払われていたのか。
	答　分納されていた。
4	P297　滞納分の請求は、現在も行っているのか。
	答　登録している宛先に納付書を送付しても郵便局から戻ってきている状態である。
5	P297　倒産・破産した場合は、未処理決済にはならないのか。
	答　温泉使用料は私債権となるため、町税等と同じ手法で不納欠損処理ができない。毎年、監査委員から指摘されているため、不納欠損処理をできるようにする条例を３月議会に間に合わせたい。
	水道事業会計
6	令和４年度に、水道の空き家対策について、自治会への協力も必要だと話していたが、今後、どのように対策していくのか。
	答　ここ２、３年冬期間の気温の低下が著しく、一人暮らしの高齢者が家を空けたとき、水道が凍結し破裂するケースが多発しているため、５年１０月、ケアマネージャーの研修に出向き、施設入所により家に人がいなくなる場合は、代理で水道を止める手続きをしてもらえないかお願いすることにしている。また、広報による冬期間の水道凍結防止の周知方法もこれまでと変える予定である。
7	ケアマネージャーだけでなく、近所の方や自治会、民生委員にも要請してはどうか。
	答　４年度より良い方策を考えたい。

No.	質疑応答の概要
8	水道管を工事する際は、どこまでが町の負担で、どこからが自己負担になるのか。 答　漏水、水道管破裂などの際は、本管からメーターまでは町の負担、メーターから先が自己負担となる。
	下水道事業会計
9	P378　人口減少のため加入率が減り、収益も減っているようだが、増えていくこともあるのか。 答　住民基本台帳に登録されている人口ベースでは、毎年、新規加入者が１００人近く増えているが、元々の加入者の転出・死亡の数がそれを上回っているため、その見込みは極めて少ないものと考える。
１０	P378　加入率の減少傾向は続いているのか。 答　２、３年前までは、新規加入者の方が多かったが、２、３年前から水洗化率の数字上だと減少に転じている。
１１	P378　下水道の加入率を上げるために、何か活動はしているか。 答　以前は、町民祭などでブースを設け情報公開していたが、思ったような効果は得られず、近年は、ホームページで情報を随時更新している。また、下水道の整備が建設課のリフォーム補助金の対象となっているため、問い合わせがあった際には勧めている。なお、設置の補助金等についても考えてはいるが、公平性の観点から難しいと思う。

○建設課

日　　程	令和５年９月６日（水）
会　　場	第２会議室
開　　会	午前９時５９分～午前１０時３３分
出席委員	高橋　満（委員長）、畠山勝巳（副委員長）、 三浦　敦、成田光一、荒谷要伸
欠席委員	なし
説 明 員	児玉課長、野呂田補佐、近藤補佐、近藤係長、伊藤主査

№.	質疑応答の概要
１２	P24　町営住宅使用料の長期未納者はいるのか。また、未納者は同じか。 答　滞納繰越世帯は４世帯であり、未納者は同じである。滞納額への対応については、実情に応じたルール作りが必要だと考えている。
１３	P26　境界立会手数料は、民有地同士の立会手数料か。 答　民有地と町有地に係る境界手数料であり、民有地同士の境界でのトラブル等への立ち会いではない。
１４	P150　住宅リフォーム助成事業について、同一人物が再度、補助金を申請できるのは何年後か。 答　前回の申請から３年経過後であるが、補助金をもらえるのは１人２回までである。なお、車庫や物置は補助対象だが、農業用倉庫は補助対象外である。
１５	P154　４年度の住宅解体は２件か。１棟あたりどのくらいかかるのか。 答　２件である。１棟あたり約１４０万円である。

○商工観光交流課

日　　程	令和５年９月６日（水）
会　　場	第２会議室
開　　会	午前１０時５０分～午前１１時１２分
出席委員	高橋　満（委員長）、畠山勝巳（副委員長）、 三浦　敦、成田光一、荒谷要伸
欠席委員	なし
説 明 員	川村補佐、笹村補佐、田中係長、近藤係長

№.	質疑応答の概要
１６	P48　八竜商工会館の電気料の詳細は。 答　土地改良区が商工会館を利用しているため、土地改良区から電気料を徴収している。
１７	P50　地域農産物加工・販売事業化支援施設使用者利用料の滞納繰越分とは。 答　令和３年度の出納閉鎖に間に合わず、令和４年度に入金されたため、未収金として処理されている。

○農業委員会事務局

日　　程	令和５年９月６日（水）
会　　場	第２会議室
開　　会	午前１１時１７分～午前１１時２９分
出席委員	高橋　満（委員長）、畠山勝巳（副委員長）、 三浦　敦、成田光一、荒谷要伸
欠席委員	なし
説 明 員	見上事務局長、岡係長、寺沢専門員

№.	質疑応答の概要
１８	P124　農地地図の更新頻度は。 答　毎月、全国農業会議のシステムを利用して台帳の更新を行い、その更新した台帳と地図を紐付けている。
１９	P130　農業委員の委員会への出席状況は。 答　ほぼ１００％の出席率である。
２０	P132　農地から農地以外への転用は、年間どのくらいか。 答　１０～１５件程であり、一時転用が多い。

○農林課

日　　程	令和５年９月６日（水）
会　　場	第２会議室
開　　会	午後１３時００分～午後１３時５２分
出席委員	高橋　満（委員長）、畠山勝巳（副委員長）、 三浦　敦、成田光一、荒谷要伸
欠席委員	なし
説 明 員	小玉課長、平塚補佐、岩谷補佐、大高係長、伊藤係長

№.	質疑応答の概要
２１	P13　森林環境譲与税が２，０００万円超あるが、累積すると残高はどのくらいか。 答　４年度末で３，５５０万９０３５円である。
２２	P40　交流型農園貸付料について、収入が２５千円であるが、借りている方がいるのか。 答　農業者以外の方へ１２０㎡/区画の貸付けを行っている。
２３	P124　森林環境譲与税の基金繰入等の仕組みは。 答　納入された森林環境譲与税は一旦基金に積立てられる。その年度で使った事業費分について、基金を取り崩し歳出に充てている。
２４	P132　農業次世代人材給付金について、対象者の人数は。 答　昨年度の対象者は１人である。新規就農相談に来た方で農業の知識がない方については、研修制度（月１０万円の補助制度）等を受けてから次世代人材給付金を申請してもらうよう指導している。
２５	P137　森林経営管理事業については、森林組合が行っている植栽、下刈りへの補助という認識でよいか。 答　そのとおりである。県が認定したものに対して、町が補助している。
２６	P138　松くい虫防除対策業務について、国・県・町の補助の割合、事業はどのように分かれているのか。 答　町が実施主体となる防除対策（薬剤散布）については、国が２分の１、県が４分の１、町が４分の１を負担して行っている。
２７	P138　猟友会への単価をもう少し上げてはどうか。 答　県で参考単価を設定しており、近隣町村と比較しても低いわけではない。
２８	P140　わかさぎ卵、うなぎ稚魚放流事業の効果はどうか。 答　うなぎは、大きいものが捕れると聞いている。なお、負担金については、組合員の人数に応じて請求されている。

上記会議の次第を記載し、その相違ないことを証明するためにここに署名する。

決算特別委員会産業建設分科会委員長　　　高　橋　　満